

ワキでの検温方法

① ワキのくぼみの中央に体温計の先端をあてます。



② 体温計が**上半身に対し30度**くらいの角度になるようにしてワキをしっかりと閉じます。



赤ちゃんをひざにのせ、後から抱きかかえるようにして測定すると、ワキをしっかりと閉じることができます。赤ちゃんが眠っている場合も、手で押さえてワキを閉じてあげましょう。



③ そのまま動かさないようにします。
予測式体温計なら電子音が鳴るまで待ちます。

水銀体温計や実測式体温計なら10分以上たってから取り出します。

測る前の注意

飲食や入浴、運動などをした後および外出後の30分間は検温に適しませんので避けてください。
測る前には、必ずワキの汗はしっかり拭きとりましょう。
(特にお子さまは汗っかきなので、ご注意ください。)

検温中の注意

検温中は動かず、じっとしているのが基本です。
途中で体温計を取り出したら、最初からやり直します。

測定時間

体温計によって測定方式が異なるため、測定時間も違います。
予測式であっても実測検温する場合は10分以上かけてください。